



3月号

神戸市立こうべ小学校

「やりぬく姿」「挑戦する姿」

毎朝、同じ時間帯に通勤していますが、日に日に明るくなり、JR から見える須磨の海も穏やかな春の海に感じられるようになってきました。寒中に耐えてきた桜の木々の芽も日ごとに膨らみ、まるで卒業式、入学式に咲くための準備をしているかのようです。

さて、北京五輪に沸いたこの冬、テレビでは連日連夜、数々のドラマが展開されました。皆様にとって印象深く残ったのは何だったでしょう。私は、普段、マスコミに取り上げられない競技もある中、めあてを持って、決してあきらめず練習し、世界で学び、重圧をはねのけ、最高の舞台での戦い振りに感動しました。どの選手も、関わっている方々への感謝を述べ、皆を思いやり、怖い者知らずに伸び伸びと勢い持って、自分の力（パフォーマンス）を発揮する姿にも感動しました。特に、失敗しても、最後までやりぬき、自分のめあてに挑戦する羽生結弦選手、どんな状況下におかれても自分の役目をやりぬく、高梨沙羅選手の姿に心を打たれました。これからの社会に必要な力は、「やりぬく力・コミュニケーション力・協働性・創造力」と言われています。21世紀を生き抜く、子供たちが身につけていってほしい姿の一端を示してくれたようにも感じました。また、アスリートの家族の言葉から、親や兄弟として選手を支え、大きな愛で包むことの大切さも再確認しました。

この1年もコロナ禍でしたが、子供たちは普通の授業や行事、体験活動を通して大きく成長しています。1年の間には成功体験や楽しいことばかりではなく、失敗することも我慢しなければならないこともたくさんありました。しかし、良い時もそうでない時も学校の主役はすべての子供です。来年度も北京五輪に負けないドラマがこうべの丘でも展開されるのではと、期待が膨らみます。学校、家庭、地域が強力なタッグを組み、子供に声をかけ、寄り添い「子供が自立する能力」を育てていきたいと思えます。今までと変わらないご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、保護者や地域の皆様には、この1年間温かく子供たちや教職員を見守りご支援いただきましたことに心より感謝申し上げます。

「ありがとうございました！」

スポーツ

鶴見 正夫

（スポーツ）

人間は動くもの、
泣くもの、
笑うもの、
スポーツはきみのもの。
自然にいどみ
自分とたたかい
かぎらない未来に向かって、
人間であることのために
生きていることをたしかめる
おのれのしるし。

（校長 中田 宗義）